

腸スッキリ！腸元気！

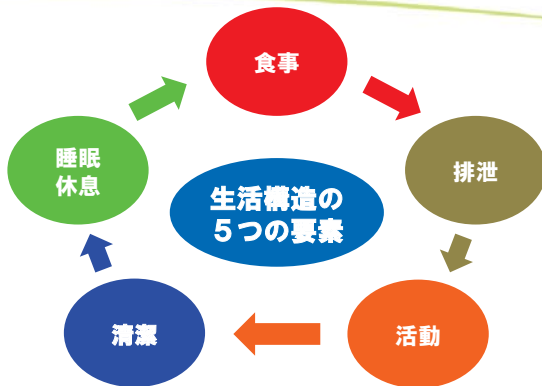


特別養護老人ホーム 小原安立
発表者：中根 裕子
機械操作：石原 隆志

1、施設紹介 社会福祉法人 昭徳会



2、はじめに…



2、はじめに…

コンチネンスケアとは、
排尿や排便が正常の状態を表す言葉を英語で「contenance(コンチネンス)」と言います。日本語に訳すと「禁制」です。「失禁」は禁制の反対語で、意識しないあるいは意志に反して尿や便が漏れる状態をさす言葉で英語では「incontinence(インコンチネンス)」と言います。しかし、尿や便が漏れるだけでなく、出にくいのも大問題です。そこで、ここでは尿や便の失禁だけでなく出なくて困ることを含めて排泄障害ととらえ、対処方法を考えます。



私達コンチネンス委員会では以下の内容を施設で推進しています。

3、コンチネンス委員会 H29年度の取組結果

H29年度 取組結果

- ① 定期下剤服用者数… **H28年度 26人→H29年度 11人 42%減**
- ② 頓服下剤服用数… **H28年度 756錠→H29年度 518錠 68%減**
※ 腸内環境を整えることで、排便コントロールを行い下剤使用数の大幅減少に繋がったが、下剤服用期間が長い方等の改善には至らなかった。
- ③ インフルエンザ感染者数 **H28年度 10人→H29年度 0人 100%減**
※ オリゴ糖の使用や、腸内環境を整えることで免疫力の向上にも繋がった。
- ④ オムツゼロへの取り組み ~実施者3名中~ **H29年度 3名達成**
※ リリアムα等を使用した、本人に合った排泄ケアを行うことで失禁0に繋がった。

4、小原安立が抱える排泄ケアの課題

施設の入居者の3割はまだ、**定期下剤や頓服下剤**を使用しているため、自然排便ができていない。

尿意・便意が無い入居者については、失禁により生活のリズムが崩れたり、**個々の排尿・排便リズム**でトイレに行くことができていない。

排泄ケアに対して、**専門的な知識を持っている職員が少なく**、急なADLの低下等入居者の変化時に随時対応していくことができない。

尿・便失禁等での、生活意欲の低下から**QOLが低下**している。



上記の課題から4つの目標を立てました。

5、コンチネンス委員会『H30年度の目標』

H30年度【目標設定】

- ① 定期下剤服用者数… **H29年度 17人→H30年度 8人 50%減**
- ② 頓服下剤服用数… **H29年度 518錠→H30年度 250錠 50%減**
※定期下剤・頓服下剤服用数の使用数を半分に以下にします。
- ③ 入居者個々への排泄ケアの実施 **4名実施**
※失禁とはQOL疾患の1つと言われています。
- ④ 施設でのコンチネンスケアの推進
H29年度 28%(コンチネンスケア委員)→H30年度 80%
※コンチネンスケア初級セミナー修了者取得率。

6、実施内容

腸内環境を整えるためのアプローチ

食物繊維



オリゴ糖



乳製品



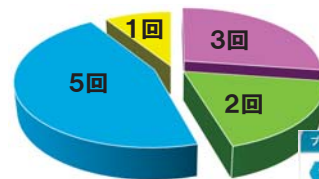
6、実施内容 0様 92歳 男性



- ① 要介護度 4
- ② 認知症高齢者の日常生活自立度 IIIb
- ③ ADL: 車椅子自乗可、手すりに捕まれば立位可能。トイレ時スポンの上げ下げは自身にて行える時もある。尿意・便意あるがたまに失禁あり。
- ④ 性格: 几帳面で少し頑固
- ⑤ 課題: 便秘症のため下剤を使用していることもあり便が緩く、失禁することがある。失禁があり生活意欲の低下が見られる。
- ⑥ 本人の願いや希望: 行きつけの喫茶店でコーヒーが飲みたい。ゴルフがしたい。

6、実施内容:現状把握

実施前:排便形状



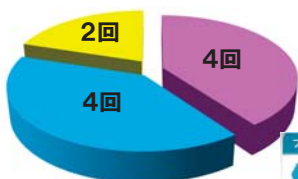
- スケール値6
- スケール値4
- スケール値7
- スケール値5

朝食・夕食後: カマ 2g (酸化マグネシウム)

プリストルスケール	便の状態	説明
1	コロコロ便	硬くてコロコロの塊糞状の便
2	硬い便	ソーセージ状であるが硬い便
3	やや硬い便	表面にひび割れのあるソーセージ状の便
4	普通便	表面がなめらかで柔らかいソーセージ状、あるいは蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便	はっきりとしたしわのある柔らかい半円形の便
6	泥状便	境界がぼけて、ふにふにの不定形の薄片便
7	水様便	水様で、固形物を含まない液体状の便

6、実施内容:実施結果

実施後:排便形状



- スケール値5
- スケール値4
- スケール値6

朝食後: カマ 2g
夕食後: カマ 2g (排便時返)
オリゴ糖 10g

プリストルスケール	便の状態	説明
1	コロコロ便	硬くてコロコロの塊糞状の便
2	硬い便	ソーセージ状であるが硬い便
3	やや硬い便	表面にひび割れのあるソーセージ状の便
4	普通便	表面がなめらかで柔らかいソーセージ状、あるいは蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便	はっきりとしたしわのある柔らかい半円形の便
6	泥状便	境界がぼけて、ふにふにの不定形の薄片便
7	水様便	水様で、固形物を含まない液体状の便

6、実施内容:実施結果



6、実施内容 K様 86歳 女性



- ①要介護度 4
- ②認知症高齢者の日常生活自立度 IIIa
- ③ADL:車椅子自操可、座位、立位不安定。トイレ時スポンの上げ下げを自身にて行おうとするが、転倒のリスクがあるため介助で行う。
- ④性格:基本的には穏やか。夕方頃、意思疎通が難しく落ち着かない時あり。
- ⑤課題:既往に脱肛があり、定期的に下剤を服用しているが下剤を服用しているもあり、失禁が多く行動・心理症状が顕著に出ている。
- ⑥本人の願いや希望:失禁やトイレでの悩みが改善され、自宅へ帰りたい。

6、実施内容:現状把握

実施前:排便形状



6、実施内容:実施結果

実施後:排便形状



6、実施内容:実施結果

実施後②:排便形状



6、実施内容:実施結果



6、実施内容



6、実施内容



8、波及効果

コンチネンスケア委員会の取り組みによる波及効果

- ① 下剤を服用している入居者や、プリストルスケール値1・2や6・7を問題と捉え各ユニット職員が課題にアプローチするようになった。
- ② 腸内環境を整えることで免疫力アップに繋がった。
インフルエンザ感染者数:H28年度 10人 ⇒ H29・30年度 0人
※入居者が1人もインフルエンザに感染することがなかった。
- ③ 失禁＝QOL疾患だということを、全職員が問題として捉え向き合うことができた。

ご清聴ありがとうございました！！





特別養護老人ホーム「小原安立」



Thank You!

7、コンチネンス委員会 『結果報告』

H30年度【目標】

- ① 定期下剤服用者数
⇒ H28年度 26人 →H29年度17人 →H30年度 6人  目標達成
- ② 頓服下剤服用数
⇒ H28年度 756錠 →H29年度 518錠→H30年度 232錠  目標達成
- ③ 入居者個々への排泄ケアの実施
⇒ 排泄で課題を抱える入居者 3名実施  未達成
- ④ 施設でのコンチネンスケアの推進
⇒ H29年度 28%(コンチネンスケア委員)→H30年度 85%  目標達成
※コンチネンスケア初級セミナー修了者取得率。

9、さいごに

- ①すべての入居者の排泄課題の改善に…
- ②専門性のある職員の教育…
- ③リリアムα等を用いた専門的な支援…

専門性のあるケアの推進
他職種との連携

支援方法の統一



※参考資料 プリストルスケール

プリストルスケール		Nestlé HealthScience
1	コロコロ便	硬くてコロコロの兔糞状の便
2	硬い便	ソーセージ状であるが硬い便
3	やや硬い便	表面にひび割れのあるソーセージ状の便
4	普通便	表面がなめらかで柔らかいソーセージ状、あるいは蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便	はっきりとしたしわのある柔らかい半分固形の便
6	泥状便	境界がぼけて、ふにゃふにゃの不定形の小片便泥状の便
7	水様便	水様で、固形物を含まない液体状の便